

第22回赤穂市民病院学会の抄録

タイトル	せん妄の型の臨床への応用
施設名	赤穂市民病院
所属	病院診療部
発表者氏名	山下将平
共同研究者氏名 施設名	和田康夫（赤穂市民病院皮膚科）
本文 (テキストのみ)	<p>【目的・背景】 当院ではせん妄対策委員会が存在せず、認知症チームがせん妄対策を担っている。病院全体でせん妄の予防・治療に務めることで、医療の質の向上につながると考えている。せん妄を発症すると、止むを得ず身体拘束を実施することもあり、状況がわからないままに患者は不安で辛い思いをするのであろう。せん妄発症予防・せん妄発症時の対応を医療者間で共有することで、迅速な対応により、医療の質が向上することが見込まれ、せん妄の型を作成することとした。</p> <p>【方法】 せん妄への対応が当院ですぐにできるように、研修医と指導医が共同で入院時の指示に活用できる「せん妄の型」を作成した。</p> <p>【結果】 せん妄予防・早期介入のために、せん妄の型を作成し、総合診療科の診療科長の承認を得た。研修医勉強会で発表すると共に、研修医同士で困った時にいつでも開けるように、グーグルドライブで情報共有を行った。</p> <p>【考察】 せん妄の型を有効に利用することで、せん妄を発症した時に的確な対応ができることが見込まれる。今後は、より多くの医療者間で共有できるように、電子カルテでセット登録できるようにしたい。</p> <p>【結語】 せん妄の型を参照することで、迅速で的確な対応が可能になることが期待できる。</p>